



自治会活動推進ポスター 最優秀賞作品

ひたちなか市自治会連合会は、地域づくりの担い手となる小学生を対象に自治会や地域活動への理解と参加を推進することを目的として、夏休みに自治会活動推進ポスターを募集しました。

地域の夏祭りや登下校時の見守り活動、清掃活動などを描いた全99作品が集まり、最優秀賞1点、優秀賞19点が選ばれました。最優秀賞は外野小学校4年 岡部 可奈さんの作品が選ばれ、今後の自治会加入促進の啓発などに活用されます。

(次ページに優秀作品を紹介)



外野小学校 4年 おかべ かな 岡部 可奈さん



自治会活動推進ポスター表彰式

11月26日(土) ホテルクリスタルパレスで、当連合会主催のリーダー研修会と併せて、自治会活動推進ポスターの表彰式が行われ、当連合会会長から賞状と記念品が授与されました。

当日、会場の通路には、最優秀賞・優秀賞作品の展示ブースが設けられ、受賞者と保護者の方が記念撮影を行いました。また、リーダー研修会に参加した自治会役員の方々も作品を鑑賞しました。

受賞した児童からは「来年もまた描きたい」、「マスコットキャラクターのおとなりさんは、なぜカワウソがモチーフになっているのか」などの声がありました。



自治会活動推進ポスター優秀賞

「子どもたちと いっしょにつながる地域の輪」

安心・安全な地域づくりやお祭りなどの自治会活動は、
子どもたちの楽しい思い出の1コマとして刻まれています。



東石川小学校 3年
まつもと あおい
松本 葵さん



前渡小学校 2年
おおかわ ゆな
大川 結菜さん



佐野小学校 5年
にしわき えま
西脇 笑詩さん



佐野小学校 6年
きなし あやの
木梨 綾乃さん



津田小学校 5年
すみや ももか
住谷 百香さん



外野小学校 4年
みやもと りくお
宮本 陸生さん



外野小学校 5年
うえむら ゆうり
植村 侑里さん



外野小学校 6年
かねこ
金子 みさきさん



中根小学校 4年
かわさき えみか
川崎 咲花 さん



東石川小学校 2年
いとう あかり
伊藤 朱里 さん



東石川小学校 3年
しまだ
島田 のどか さん



東石川小学校 3年
ふせ ももこ
布施 萌々子 さん



堀口小学校 1年
よしだ まゆ
吉田 真悠 さん



堀口小学校 2年
よしだ みゆ
吉田 心優 さん



津田小学校 1年
さいとう しずく
斎藤 汐凜 さん



津田小学校 3年
ささじま
笹嶋 あや さん



那珂湊第二小学校 2年
しばぬま
柴沼 ころろ さん



那珂湊第三小学校 6年
しばさき みゆと
柴崎 海結人 さん



那珂湊第三小学校 6年
わかばやし まい
若林 真衣 さん



自治会活動推進ポスター 審査会

9月22日(木)市役所で、自治会活動推進ポスター一次審査会を開催しました。当連合会広報委員長及び有識者2名の計3名で、応募があった全99作品の中から、優秀賞20作品を選出いたしました。

10月11日(火)には、当連合会理事会にて優秀賞20作品の中から、最優秀賞を決定しました。

今回は、一次審査会で審査員を務めてくださいました西條友弥子様に講評をいただきました。

自治会活動推進ポスター審査講評

審査員 西條 友弥子

一次審査は、自治会連合会広報委員長の佐藤さん、フォトグラファーの福田さん、デザインコーディネーター西條の3名で、各審査員が持ち点を各作品に投じて、得票の多い作品に絞り込んで審査しました。

文字やイラストの資料はネットなどで簡単に調べられるからこそ、資料を活用しつつ自身が感じたり伝えたいことをどのように工夫して表現しようとしているかに、各審査員の視点が集まっていました。

最優秀賞に選ばれた作品は、標語が太い文字でバランスよく、遠くから見てもわかりやすいシンプルなイラストでデザインされ、大人や子ども、仲間たちの気持ちが、資源回収活動を通してつながっていることが伝わるポスターだと思います。

ポスターに表現されるテーマの変化も感じました。コロナの影響で近年イベントが減ったこともあると思いますが、資源回収やゴミ拾い、見守りなど日常の活動を表した作品が多かった印象です。今後イベントが復活してきたら、また変化があるのかなと楽しみです。

自治会活動への参加は、住み続けられるまちづくりの点でSDGs活動と言えます。これからも、皆さんの暮らしがどのように支えられているか観察し、参加し、楽しんで、また描いてみてください。



自治会活動推進ポスター 一次審査会の様子

最優秀賞・優秀賞の展示



11月5日(土)～11月6日(日)に産業交流フェアの屋内ブースに自治会活動推進ポスター入賞作品の展示を行いました。来場された多くの方々に、力作ぞろいのポスターを見ていただきました。



昭和30年頃は、テレビの普及率は低く、プロレスや紅白歌合戦など、観たい番組があると、近所に行って観させていただきました。温かく迎えていただき、お茶をご馳走になり、何家族かで楽しく観たことが思い出されます。また、道路は砂利道で、年に一度くらいは補修（道普請）をし、地域住民が協力し合い、生活するための環境整備や維持補修をしていました。葬式があれば、何日も隣近所や地域の方にお世話になっていました。

農業から工場等で働く人が増えると、協同作業は少なくなってきました。個人の生活に干渉する人も少なくなり、暮らしやすい、と思うようになってきたのでは。ドアを閉めれば、隣の人が何をしても関係ない。近所に誰が住んでいるかもわからない。

その結果、引きこもりや孤独死だとか、無縁社会が問題になっています。誰ともつながりがなく、生活を謳歌していたつもりが、「生きにくい」社会の中にポツンと立っていた。孤独な家庭で育った子どもたちが、成長してさらに孤独な社会をつくらなければよいが、と心配するのは私だけでしょうか。

現在は、道路の維持補修は行政が、葬式は専門業者にお願いすればよい時代になってきました。また、インターネットや携帯電話などの普及によって、私たちはモノに依存することで、間接的なものが多くなり、人間関係が希薄になり、疎遠化も進んでいると思われます。

顔を突き合わせる“フェイス・トゥー・フェイス”の関係を創り出す場として、自治会の役割はますます重要ではないでしょうか。



情報交換会

新型コロナウイルス感染症第7波が少し落ち着きを見せ始めた9月30日（金）にホテルクリスタルパレスで情報交換会を開催しました。茨城大学人文社会科学部准教授の川島佑介氏を講師に迎え「持続可能な自治会運営について」と題し、講演があり、その後小グループに分かれ、テーマ①役員活動の担い手不足について、②退会者対策について、③フリーテーマで、対面でのグループディスカッションが行われました。各々の自治会での問題点を自由に発表し合い、これからの自治会運営に取り入れ、活かす事が可能か白熱した議論が交わされ、有意義な情報交換となりました。



リーダー研修会

11月26日（土）にホテルクリスタルパレスで、当連合会主催のリーダー研修会を開催しました。講師は合同会社フォーティR&C代表の水津陽子氏、演題は「多様な人材の登用・確保について」でした。水津氏は、地域ブランドづくりや自治会・町内会等地域活性化、まちづくりのコンサルタントとして、講演、調査研究等の活動を行っています。「ひたちなか市の自治会の現状、課題として、加入率の低下、担い手不足、若者の自治会未加入等があり、持続可能な自治会活動が今後

見込めないのではないか。防災、高齢者・子どもの見守り、居場所づくりなどに対して十分応えられていないのではないか。自治会は地域コミュニティにおいて重要な役割を担うべきところ。」そこで自治会・町内会等の行う地域活動を変化する社会環境に対応すべく活性化するための提案があり、全国の先進自治会の事例を紹介し、詳細説明がありました。特に女性の登用・リーダーの育成支援を強調されました。その後、市内自治会の女性役員と講師によるパネルディスカッションが行われ、女性の活躍が促進される環境づくり等々について議論が交わされ、今後の自治会活動を推進する上で有意義な研修会となりました。





コロナ禍の影響により、この2年間自治会活動の中止を余儀なくされてきました。

今年も楽しみにしていた夏祭りも中止となり、このままでは自治会離れに拍車をかけることになりかねないと、役員会で幾度か議論を重ね、①皆さんが楽しく喜んでくれる、②ソーシャルディスタンスが保てる、③会員への還元を考慮する。の3点を基本として、『高場南大収穫祭』と名付け、10月8日(土)に、新米の大安売り、地元産を中心とした野菜の安値提供、また、子ども会の皆さんにお手伝いいただきバザー販売ブースを設け、子供服やぬいぐるみ、茶碗類、釣り具関係などの販売を実施しました。

100人を超える人出があり、最後に「大抽選会」の発表で締めくくられ、来場者から「来年も待ってます。」との言葉を受け、盛会裡に終了しました。



野菜販売の様子



『こんなときだから、地域の人たちが集まれることを始めよう!!』津田東自治会では、10月15日(土)に津田第三公園において、『第1回津田東秋祭り』を開催しました。

会場には、定番の焼きそばや綿あめ、フランクフルト、焼き立てピザ、秘伝ダレの焼き鳥、本格派石焼芋、見栄え最高のカルピスやレモネードなど、こだわりの出店が並び、さらに玉入れ、輪投げ、バッコウ、グラウンドゴルフなどのゲームでは、それぞれの得点の合計で、景品や出店のタダ券がもらえるお楽しみ付きです。当日は、開始前から多くの地域の方が来てくれて、あっという間に会場は大賑わい。津田の秋の空に、子供たちと親、そしてゲームを担当してくれた寿会の方々、3世代の笑い声が響く楽しい一日となりました。コロナを理由に行事を中止することは簡単ですが、思い切ってやってみれば、地域の方々がこんなに喜んでくれる。これからも、『こんなときだからこそ』みんなが楽しめることを企画して、地域を『再起動』していきたいと思っています。



模擬店出店の様子



東中根団地デジタルカメラクラブでは、9月21日から26日まで勝田駅前のひたちなか・まコミュニティギャラリーで21回目の写真展を開催し、23人の会員が風景・スナップなど32点を発表しました。期間中は市内近郊や県北、県西地区からも写真愛好者をはじめ大勢の方が来場され、熱心にご観覧いただきました。

12年前のクラブ発足当時は、カメラの操作さえよくわからない人がほとんどでしたが、月例会や郊外撮影会などでレベルアップに励んできた結果、近年はひたちなか市芸術祭美術展覧会に応募し、多くの会員が入賞するまでになりました。9月の芸術祭美術展覧会でも特賞や市長特別賞など6人が入賞しております。





11月19日(土)堀口公園において、見守り・声かけ訓練を行いました。この事業は、認知症になっても自分らしく安心して暮らせるまちづくりの推進を目的として、市高齢福祉課が主催し、地域包括支援センターの協力のもと地域住民を対象に行われるものです。

堀口自治会の高齢者サロン“さくら・桜”は、先行地区としてモデル的に実施することになり、元気アップ体操やお茶の時間で和んだ後、見守り・声かけ訓練を実施しました。

まず、高齢福祉課より、見守り・声かけの必要性や、気づきや声かけのポイントについて説明を受けました。その後、実践編として、代表者数名が「しげばあちゃん」に扮した地域包括支援センターの職員を相手に、実際の声かけから、適切に引き継ぐまでの模擬訓練を行いました。実践後は、参加者から声かけの仕方等について、良かった点や気づいた点について意見が出されました。また、こういう場合には、どう対応したらよいのかなど、積極的な質問が出され、充実した訓練となりました。この取組をきっかけにして、認知症に対する正しい理解と地域でお互いに見守り・見守られる意識を育むきっかけにしていきたいと思っております。



4自治会合同防災訓練

和田町自治会、七町目自治会、牛久保町自治会、殿山町自治会

毎年、那珂湊第二小学校管内の4自治会(和田町・七町目・牛久保町・殿山町)で合同防災訓練を行っています。この経緯は、東日本大震災の発生を機に県が学校・地域・家庭・行政が連携した防災力強化推進事業を策定、そのモデル事業として県内で5地域を選定、当市では那珂湊第二小学校が指定を受けそれに基づき、地域と学校が連携した防災訓練を実施し、現在に至っております。

8月27日(土)に3年ぶりに合同防災訓練を実施しました。午前9時に災害発生を知らせるサイレンを各自宅にて確認し、周辺的安全確認、近所への声掛け等を行った後、那珂湊第二小学校へ避難を開始しました。体育館ではDVD鑑賞、グラウンドでは消防分団による水消火器の実演、フレキシブルタンクでの給水訓練、またNTT・自衛隊の協力によるブースの設置などを行いました。

今回はコロナ禍の影響等で参加者が多くありませんでしたが、今後は防災訓練実施する呼びかけの周知徹底、実施内容の充実を図り、大勢参加してもらえようようにしたいと考えています。



ICT活用への取り組み



コロナ禍による自粛活動が続く中、恒例行事も中止あるいは縮小せざるを得なくなり、交流の機会が少なくなっております。

そこで、小貫山自治会ではICTの活用に着目し、新しい取り組みとして、今年度7月に小貫山自治会の公式ラインアカウントを開設致しました。自治会活動内容や回覧物、防災情報などの発信に加え、会員の皆様とのコミュニケーションツールとしても活用を考えています。開設後、現在では約200名の方が登録しており、関心を持って頂けた方の多さにとってもありがとうございます。

まだまだ試行錯誤の中ではありますが、自治会活動の新しい形として確立できるよう取組んでまいります。



自治会トピックス

第37回枝川ふれあいまつり

枝川

地域の一大イベントである「ふれあいまつり」は、コロナ禍により中止していましたが、感染対策を徹底し3年ぶりに、12月4日(日)枝川転作センターにおいて「枝川ふれあい祭り」を開催しました。

式典は、小学生の吹奏楽演奏で賑やかに開始しました。会場内には模擬店と芸術作品展示もあり、大勢の来場者の皆さんは楽しく交流していたようです。最後には抽選会で豪華景品をゲットする方がみられるなど大いに盛り上がりました。

多世代の交流で、地域の絆が深められた有意義で、楽しい一日となりました。

いつ起きてもおかしくない災害に、頼りになるのが身近な住民同士の繋がりで、改めて地域の絆を強める行事であると実感しました。



「多世代交流会」の開催

弥生西谷津

昨年、一昨年と、新型コロナウイルスの影響により自治会では行事の開催ができない状況が続いていましたが、自治会にとって行事の開催は重要であるという認識の下、今年度は予定していた行事の殆どを実施してきました。その中で運動会が中止になっており、それに代わるものとして、11月19日(土)に初めて「多世代交流会」を実施しました。初めての試みであり、準備不足のためか参加人数は30人程度と期待より少人数でしたが、グラウンドゴルフ、輪投げ、射的の競技を楽しみました。子供たちが初めてのグラウンドゴルフを悪戦苦闘しながら楽しんでいたのが印象的でした。



地域のお祭り「大島ふれあいフェスタ」の開催 大島コミセン地区

大島コミセン地区の10自治会全体として、ここ2年間、新型コロナウイルス感染症の影響により、大きな事業はすべて中止となりました。今年度の事業は、現状でできることは行うという姿勢で臨むことにしました。10月の運動会は参加者の年齢層の幅が広く、感染リスクが高いため止む無く中止となりました。それでも、11月には一大イベントである「大島ふれあいフェスタ」を3年ぶりに開催しました。コロナ禍のため、感染防止の観点から調理しての飲食を見合わせる等の措置を講じました。

今年はコミセン創立40周年の節目の年であり、できれば地域の皆さまと一緒に祝いし、センターとしての機能を高めたい思いもありました。当日は心配された天候も何とかもち、久しぶりに多くの方が集い、笑顔と活気にあふれる一日となりました。



田彦西公園開園



田彦西

7月31日(日)、開園セレモニーにて、小学生兄弟による「田彦西公園開園します。」の宣言により全面開園しました。

公園は、幼児から高齢者まで体を思い切り動かせる公園として整備されました。芝生広場では、グラウンドゴルフの直線50mがとれ、サッカー、キャッチボール、キックベースボール等十分に楽しめます。

整備計画の段階で、公園近隣住民の40代を中心に18名で「公園応援隊」を結成し、当番による週1回のごみ拾い・遊具等の点検、全員で月1回程度の芝刈りを実施してきました。また開園後は、毎日ベンチ等を拭いてくれる方、雑草を取ってくれる方がおられます。

公園が多くの住民に利用され、健康づくりの場・交流の場になり、元気で明るい田彦西地区の一助になることを期待しております。



編集後記

新しい年を迎え、皆さんはどのような目標を立てましたか。

年の始めには何かしらやる気と希望が湧いて来るものですね。

ただ、このやる気を維持できる期間は年々短くなり後は惰性で過ごすのが常とか。とはいえ、各自治会では「安全安心なまちづくり」を目指して年々継続される事業でも、更なる工夫を重ね明日を見た活動が行われています。これからは、新年度に向けての準備が始まります。大いにご期待致します。

この度、多くの皆様から玉稿をお寄せ頂き、連合会だより73号を皆様にお届けする事が出来ました事に深く感謝申し上げます。(広報委員会)

自治会についての詳細情報は、市のホームページにも掲載しています。



https://www.city.hitachinaka.lg.jp/shiminkatsudo/m_shimin/1003739/index.html